vinetur

2025年のチリの1人当たりビール消費量は53リットル、2023年比7.34％減

Euromonitorによると、チリ国内のビール販売量は4.96％減の1,073万ヘクトリットルとなり、1人当たり需要はさらに速いペースで落ち込んだ

2026年11月16日（月）



Euromonitor International が11月14日に公表した調査によると、チリの1人当たりビール消費量は2023年の57.2リットルから2025年には53リットルに減少し、この期間の1人当たり消費量は7.34％減となった。

この数値は、特定のビールメーカーやブランド、地域ではなく、チリ国内のビール市場を対象とする調査「Huella económica y tendencias de la cerveza en Chile」に基づく。同調査は11月11日に発表され、2025年のデータを用いている。

1人当たり消費量の減少は、市場全体の販売量の落ち込みを上回った。公表された数値によると、チリのビール販売量は2023年の1,129万ヘクトリットルから、2025年には1,073万ヘクトリットルに減少した。減少幅は56万ヘクトリットル、率にして4.96％だった。

この2つの指標の差は、市場の縮小が販売量全体よりも住民1人当たりで見た場合に顕著だったことを示している。絶対量では、年間の1人当たりビール消費量は2023年から2025年にかけて4.2リットル減少した。

Euromonitorが公表した比較データには2024年の基準値が含まれていないため、2024年と2025年の前年比を直接比較することはできない。数値が示しているのは、2023年から2025年までの2年間の変化だ。

調査とともに公表されたデータに金額は含まれていない。比較は、1人当たりのリットル数と国内市場全体のヘクトリットル数（百万単位）に基づいている。そのため、今回の発表はチリのビール消費動向を販売量から捉えたものであり、収益や価格、企業業績を示すものではない。

今回の調査の公表により、2023年以降のチリにおけるビール需要の変化を追う新たな基準点が示された。また、より広範な市場分析では見落とされがちな違いも明らかになった。市場全体の販売量が減少するなか、1人当たり消費量はさらに速いペースで落ち込んだ。

報告書の全文は一般公開されておらず、11月14日に調査とともに公表された数値以外については、調査手法を独自に検証できなかった。